

◇八丈島の概要

八丈島は東京の南方海上287Kmに位置し、面積69.11㎡のひょうたん型をした島で、約7,600人が暮らしています。地形的には富士火山帯に属する火山島であり、南東部を占める三原山(700.9m)と北西部を占める八丈富士(854.3m)から成り立っています。気候は黒潮暖流の影響を受けた海洋性気候を呈し、平均気温17.8℃、高温多湿で雨が多いのが特徴です。



◇八丈町のシンボル

【町の鳥／アカコッコ】

【町の花／ストレッチア】

【町の木／フェニックス・ロベレニー】

【町の魚／ハマトビウオ】



アカコッコ



ストレッチア



フェニックス・ロベレニー



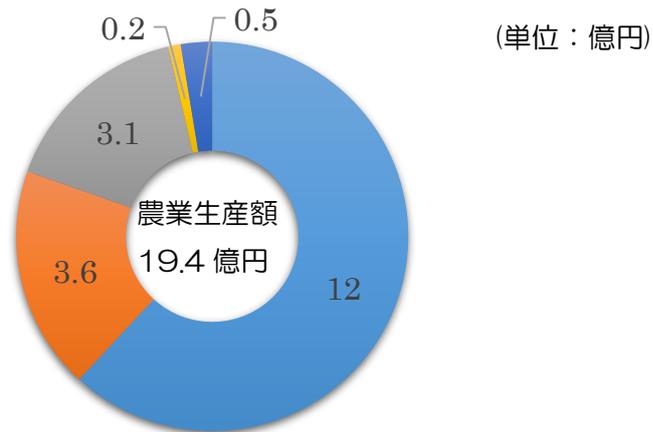
ハマトビウオ

◇八丈島の農業

八丈島は切り葉や観葉鉢物などの花き園芸が盛んに行われています。中でもフェニックス・ロベニー（以下「ロベ」）の切り葉は国内最大の生産地です。また、八丈島原産と言われるアシタバは健康野菜として親しまれ、生葉・加工品として流通しています。

近年では、皮も一緒に食べることができる「八丈フルーツレモン」も人気が高く、毎年多くの注文を受けています。

平成29年産農業生産額



■切葉切花 ■観葉植物 ■農作物 ■畜産物 ■その他



◇研修内容

	栽培実習内容	基礎研修内容
1 年 目 ・ 2 年 目	<p>指導員による研修指導</p> <p>◎研修圃場での栽培実習</p> <p>＜施設＞ルスカス・レザーファン・キキョウラン・レモン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫作業 ・出荷調整作業 ・病害虫防除 ・施肥 ・施設管理 ほか <p>＜露地＞ロベ・あしたば・ストレチア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場造成 ・種まき、苗移植 ・病害虫防除 ・圃場管理 ・収穫、出荷作業 ほか <p>◎島内先進農家研修</p>	<p>指導員による講習</p> <p>◎座学等による基礎研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌肥料、病害虫等 ・花きに関する栽培技術 <p>＜総論＞花き栽培の基礎知識</p> <p>＜各論＞ルスカス、レザーファン、ロベ、キキョウラン、ストレチア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜、果樹に関する基礎知識 <p>＜総論＞野菜、果樹栽培の基礎知識</p> <p>＜各論＞あしたば、レモン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営に関する基礎知識 農業簿記等
3 年 目 以 降	◎就農準備期間として、指導員なしで自己研修を行う。	



※その他、研修期間中に島外視察実施。
 ※栽培実習作目は、変更になる可能性もあります。



レザーファン研修



農業簿記講習会

◇募集要項

研修生の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に農業に取り組み、研修中及び研修終了後も八丈島内に定住し、独立営農する意志がある方 ・18歳～50歳位までの方 ・普通自動車免許を有していること(入所までに取得すること) 	
研修期間	基本4年間(最短2年間)、令和2年4月研修開始	
募集人数	1名	
研修作目	【施設】	<ul style="list-style-type: none"> ・ルスカス ・レザーファン ・キキョウラン ・レモン
	【露地】	<ul style="list-style-type: none"> ・ロベ ・ストレッチア ・あしたば
研修生一人あたり栽培面積	<p><施設> 耐風強化型パイプハウス5棟(1,620㎡) (ルスカス2棟、レザーファン1棟、キキョウラン1棟、レモン1棟)</p> <p><露地> ロベ 約700㎡、あしたば 約1,000㎡ ストレッチア 約330㎡(ストレッチア、あしたばは全員で管理)</p>	
研修場所	八丈町大賀郷 7688番地3、8316番地1 ほか 八丈町農業担い手育成研修センター内圃場および先進農家圃場	
研修内容	研修品目の栽培実習及び実習を補完する基礎研修	
募集期間	令和元年10月16日(水)～11月29日(金)	
応募方法	<p>別紙研修希望申込書に必要事項を記入の上、写真を貼付して八丈町産業観光課へ提出(郵送・メールにて応募受付)</p> <p>提出先：住所：〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 八丈町役場 産業観光課 浅沼 今日子 宛 E-mail：kyoko_asanuma@town.hachijo.tokyo.jp</p>	
研修生の決定	八丈町担い手育成総合支援協議会で選考会を開催 書類審査及び面接により決定します。	
研修費用	基本的に研修に係る経費については八丈町が負担します。 但し、研修の内容によっては実費負担が発生することがあります。	
生活支援金等	<ul style="list-style-type: none"> ・八丈町からの支給はありませんが、研修センターからの収穫物を出荷して得られる生産収益を生活や独立営農時の資金等に活用していただきます。 ・住宅については、相談をお受けします。 ・(公財)東京都農林水産振興財団から住居賃借料の費用の助成を受けられます(年間150,000円を限度とする)。 ・農業次世代人材投資事業(経営開始型)が条件によっては受けられます。 	

※研修生の人数により栽培面積、研修作目は変わることがあります。

八丈島でまってるよ！



◇八丈島までのアクセス

- 空路 東京・羽田空港よりジェット機で片道 55 分
全日空 東京羽田⇄八丈島 毎日 3 便就航
全日空：0570-029-222（有料）



- 海路 東京・竹芝桟橋から大型客船で片道 11 時間
東海汽船 竹芝桟橋⇄八丈島（三宅島・御蔵島経由）、毎日 1 往復
東海汽船竹芝支店：03-3433-1251
東海汽船予約センター：03-5472-9999
東海汽船八丈島支店：04996-2-1211

